

学級担任のまなざし 10

Okayama Prefectural Education Center

R2.6.19[Fri]

「問いかける」

一年の間には、学級が好調の時もあれば、不調の時もあります。どんなに力のある教員の学級にも、波はあります。場合によっては、担任として、厳しいことを子どもたちに問いかけなければならない時もあります。

学校は、何をするところでしょう。計算の仕方を学び、漢字の読み書きができるようになること、友達と学び合い、自らの課題をもって探究すること、学び続ける意欲をもつことなどは、もちろん大切なことです。それら一つ一つがみなさんの未来にとって必要な能力だからです。

それと同じくらい大切なことが学校で行われています。それは、ヒトが人間になるということです。人間としての優しさや温かさ、強さや細やかさをもつようになるということです。

しばしば約束を破る人を、あなたは本当の友達として認めますか。自分勝手な人を、あなたは本当の友達として認めますか。強い友達には従って、弱い友達には厳しく接する人を、あなたは本当の友達として認めますか。

勉強が苦手でも、約束を守り、公平で、陰日向のない人を友達に選ぶのではないですか。運動が苦手でも、困っている友達に手を差し伸べたり、目立たない仕事を黙々とやり遂げている人を友達として選ぶのではないですか。

相手に求めるのなら、自分自身もそうあるべきです。

問われているのは、あなた自身の発している言葉です。あなた自身の友達との関わり方です。その基になっている、あなた自身の意識です。